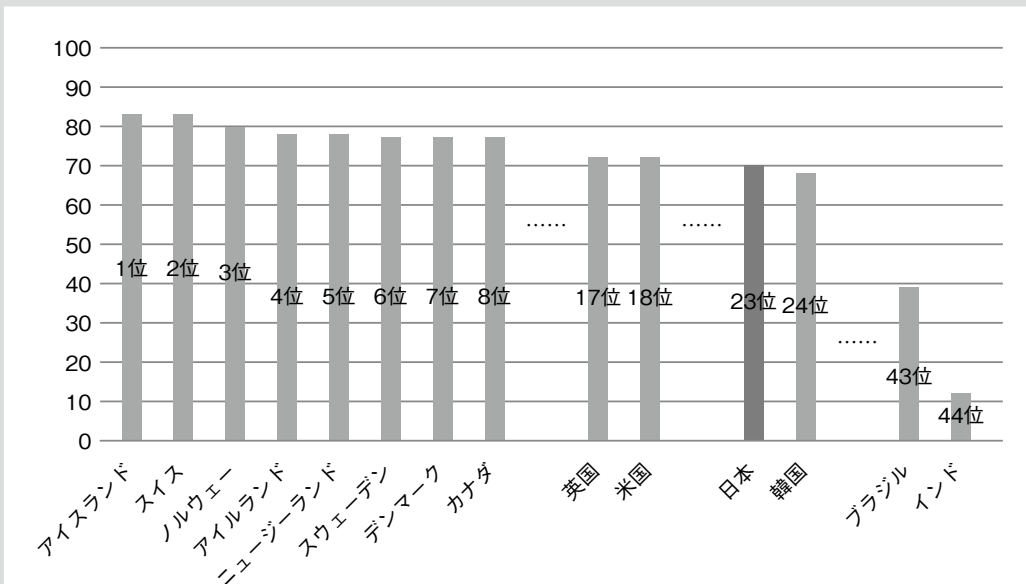


退職後の豊かさの国際比較



フランスの資産運用会社ナティクシス・インベスト・マネージャーズが、世界 44 カ国を対象に退職後の豊かさを調査したところ、日本は前回から 1 つ順位を下げ、23 位であった。7 年目となる同調査は、退職後の資産、物質面での豊かさ、生活の質、健康の 4 分野を、18 の要因から分析している。日本は平均余命と雇用の評価で最高評価を得たが、高齢者を支える労働者の数、政府債務、幸福度の評価が著しく低かった。西欧諸国、特に幸福度が高い北欧諸国が上位を占める。

ナティクシス・インベスト・マネージャーズ「2019 Global Retirement Index」より作図